

# 2021年度 大阪府SDGs有識者会議（第1回）

2021年（令和3年）10月

企画室 推進課

# 2022年度の大阪府の取組み（案）

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

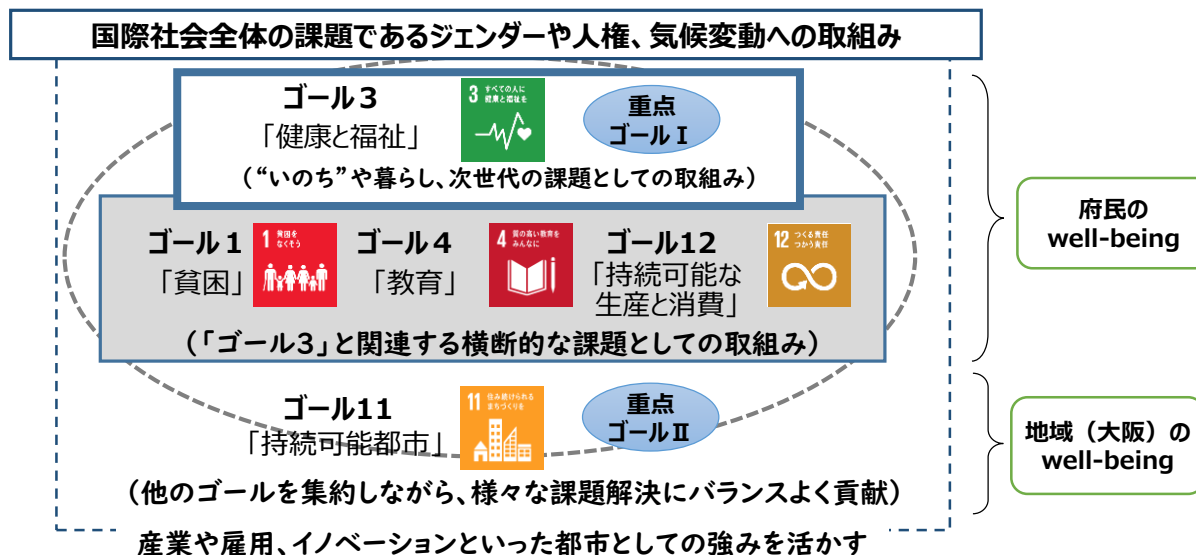


## Osaka SDGs ビジョン（令和2年3月策定）

- Osaka SDGs ビジョンは、2025年大阪・関西万博の開催都市として、**世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献する「SDGs先進都市」を実現するため**、大阪がめざすSDGs先進都市の姿を明確にし、府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーと共有することで、**オール大阪でSDGsの新たな取組みの創出を図っていくこと**を目的に策定。
- **本ビジョンを指針に、大阪のあらゆるステークホルダーが**、SDGsの17ゴールや169のターゲットの達成に向け**一緒になって取組み、SDGs社会を実現していくこと**は、大阪が、未来に向かって**持続的に成長し**、府民一人ひとりが**「豊かさ」や「安全・安心」**を実感できる社会へと発展するための**基盤づくり**につながるもの。
- 2025年に開催される大阪・関西万博のテーマである**「いのち輝く未来社会のデザイン」**は、**SDGsが達成された社会**をめざすもの。大阪では、**万博を「SDGs社会を具現化し世界とともに未来をつくる」絶好の機会として本ビジョンを推進**。2025年に向け、SDGs先進都市としての基盤を整えながら、**万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現。2030年のSDGsの達成に貢献していく**。

## 【2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」】

- SDGs先進都市として、国際社会全体の課題である**ジェンダーや人権、気候変動に取り組む**ことはもとより、万博のテーマである**「いのち」や暮らし、次世代に関わる課題を有するゴール3**を**「府民の豊かさ〔well-being〕」**をめざす**重点ゴール**として位置づけ、関連する横断的な課題である**ゴール1、4、12**に取り組む。
- また、他のゴールを集約しながら様々な課題解決にバランスよく貢献できる**ゴール11**を**「大阪の豊かさ〔well-being〕」**をめざす、**もう一方の重点ゴール**として取組みを広げていく。
- 重点ゴール等の推進にあたっては、**産業や雇用、イノベーション**といった都市としての強みを活かしていく。



## Osaka SDGs ビジョンに沿って取組みを推進

大阪府は、これまでから2025年大阪・関西万博の開催都市として、**世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献する「SDGs先進都市」の実現**に向け、様々なステークホルダーと連携しつつ、多くの取組みを進めてきました。

引き続き、ビジョンに掲げる大阪府の役割りに沿って**効果的に取組みを推進**します。

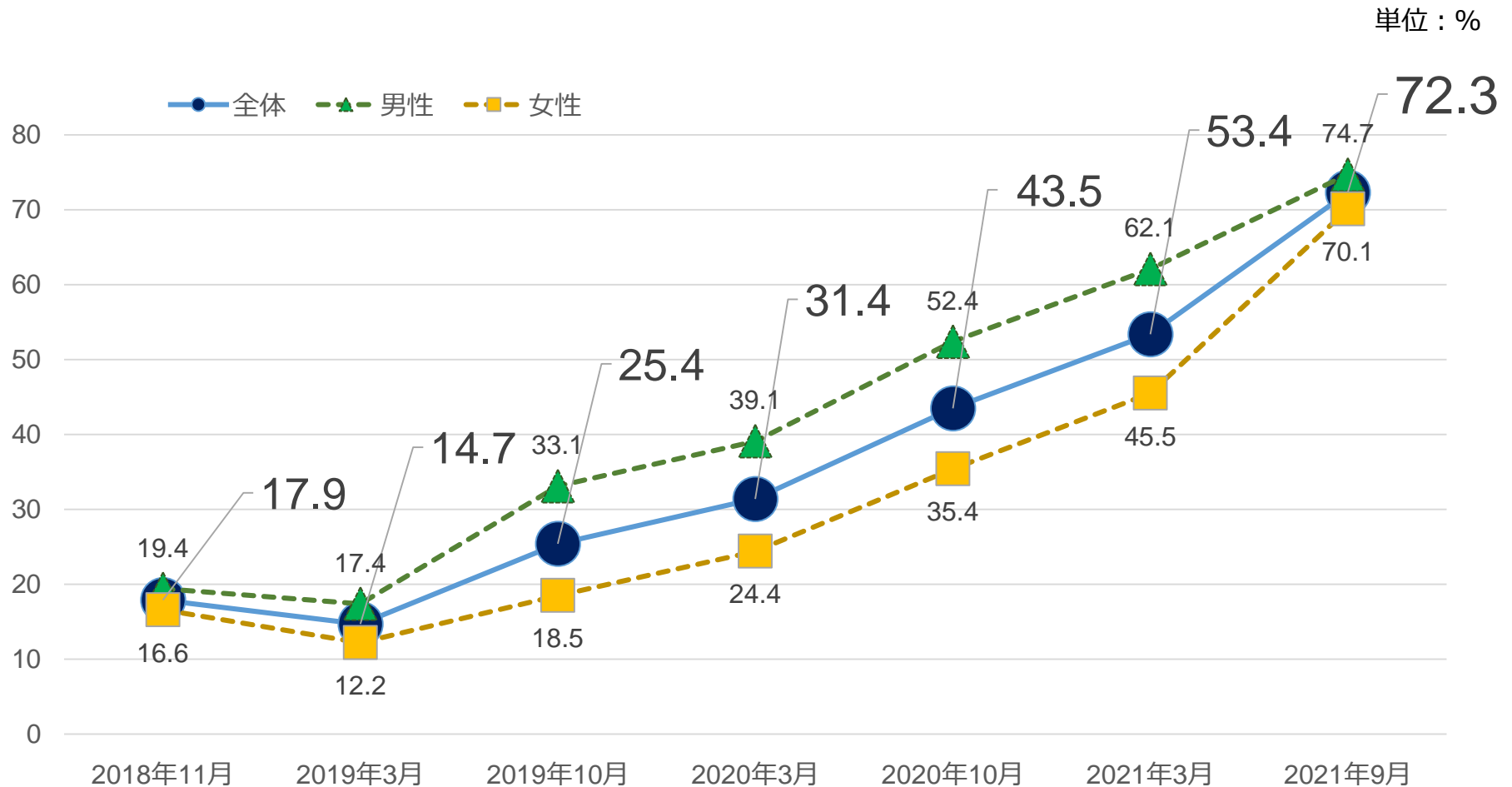
※予算を伴う企画については、大阪府議会の議決を前提とさせていただきます。

### Osaka SDGs ビジョン（抜粋）：大阪府の役割

- ① 府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーに**SDGsを広く知っていただく**  
⇒ SDGsの**更なる浸透**を図り、これまでにSDGsになじみのなかった**新たなステークホルダーの掘り起こし**や具体的な行動につなげる
- ② 様々なステークホルダーの取組みをSDGs実現に向けて**相互につなぎ合わせていく**  
⇒ **関西SDGsプラットフォーム**や**国関連機関、経済界、金融機関**などと連携し、それぞれのネットワークを活かしながら、ステークホルダー間の**マッチング**と**新たな取組みの創出**を図る
- ③ **府自らもステークホルダーの一員として、SDGsに貢献する**  
⇒ 庁内各部署の**主体的な取組みの更なる充実・強化**を図り、SDGsとして取り組むからこそできる施策を幅広く展開していく
- ④ ハード・ソフト両面から**「SDGsを具現化した都市づくり」を進める**  
⇒ 大阪の持続的成長や、府民の豊かさ、安全・安心の実現に向け、SDGsの理念に沿った**社会システムや価値観の変革**を進める

## 大阪府民のSDGs認知度

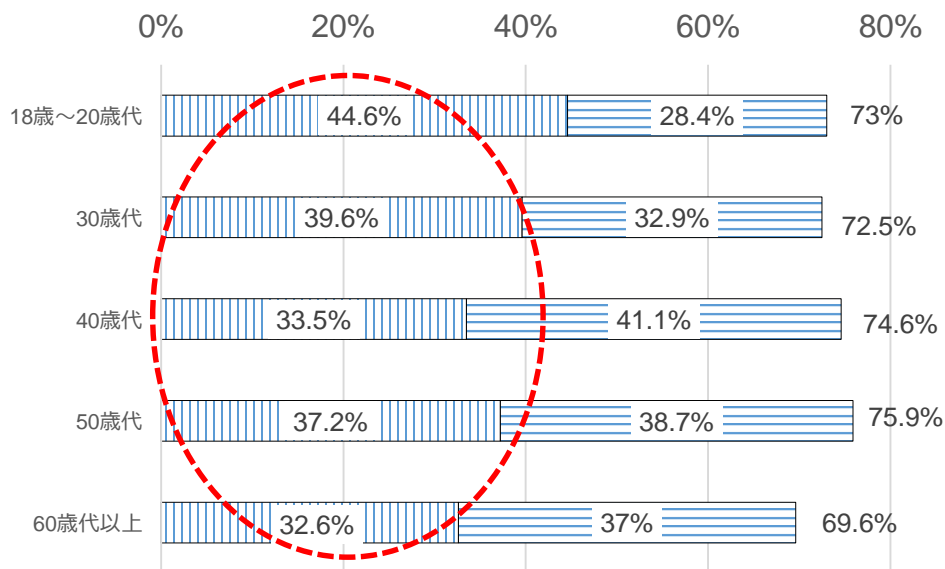
※対象者条件（18歳以上の男女 サンプル数：1,000名）



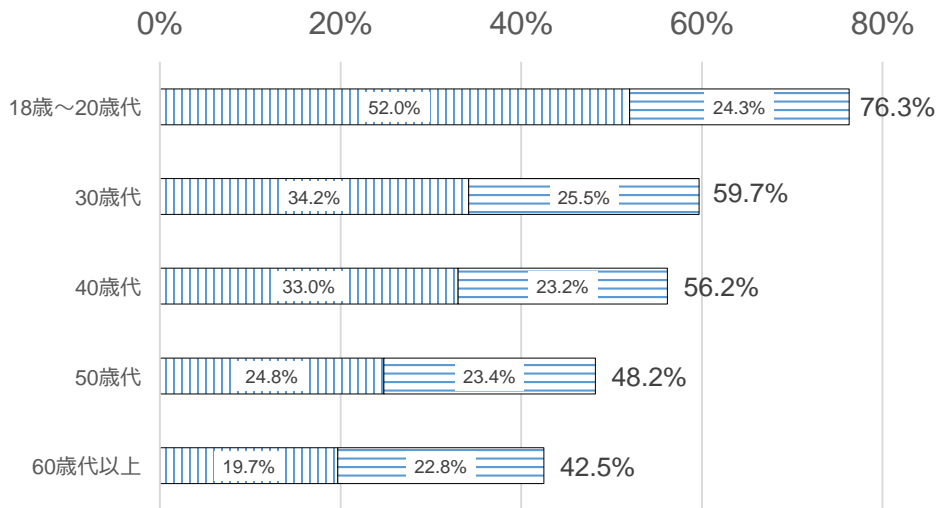
## 大阪府民のSDGs認知度

※対象者条件（18歳以上の男女 サンプル数：1,000名）

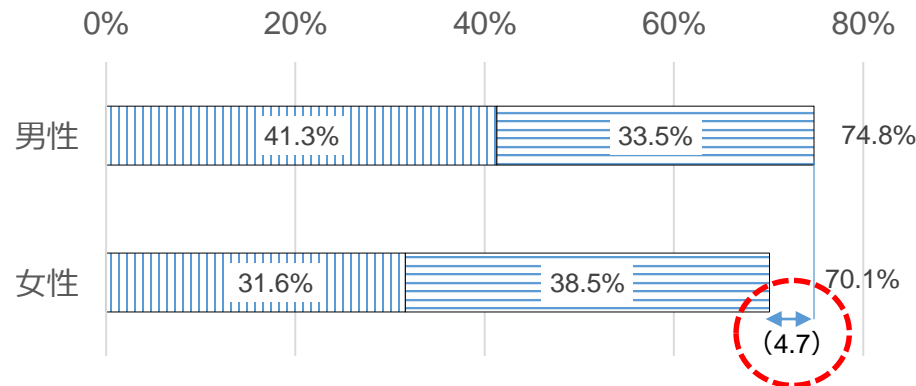
### ◆認知度（世代別）



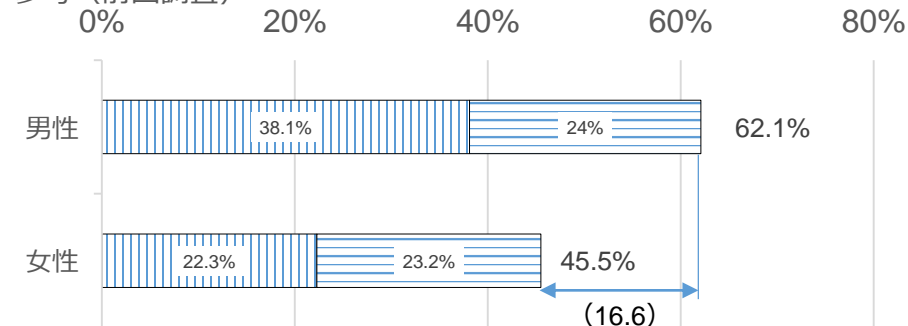
### 参考（前回調査）



### ◆認知度（性別）



### 参考（前回調査）



SDGsを知っていた  
 SDGsという言葉は聞いたことがあった。ロゴを見たことがあった

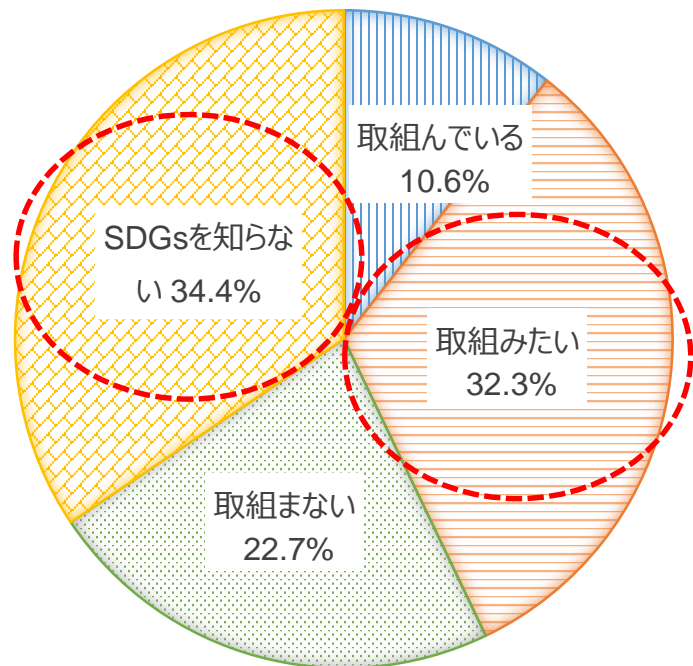
## ■ 中小製造事業におけるSDGs

実施時期：2020年7月～8月

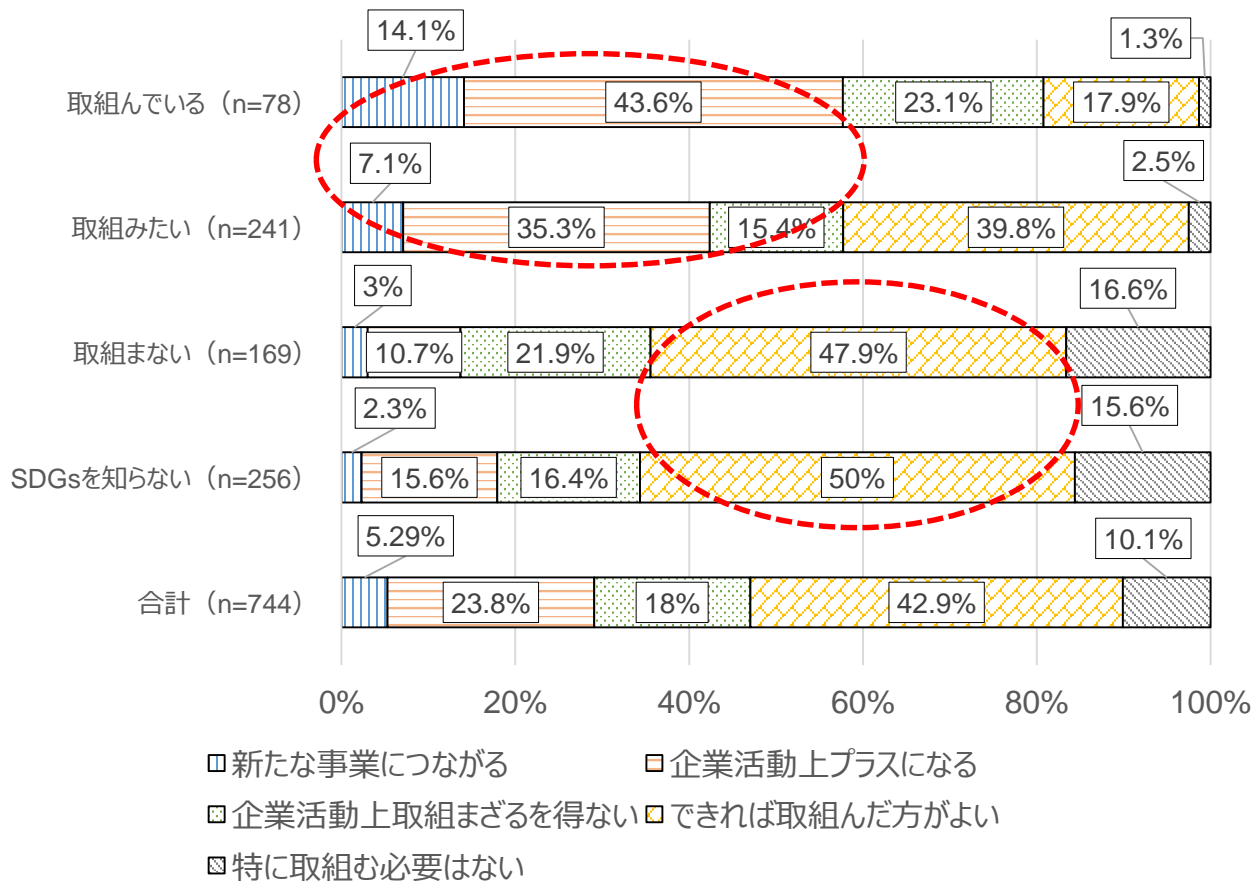
発送件数：3,000件（有効発送数：2,886件）⇒ 有効回答数（率）：790件（27.37%）

調査対象：府内製造業（無作為抽出）

### ◆ SDGsへの取組や意向（n=744）

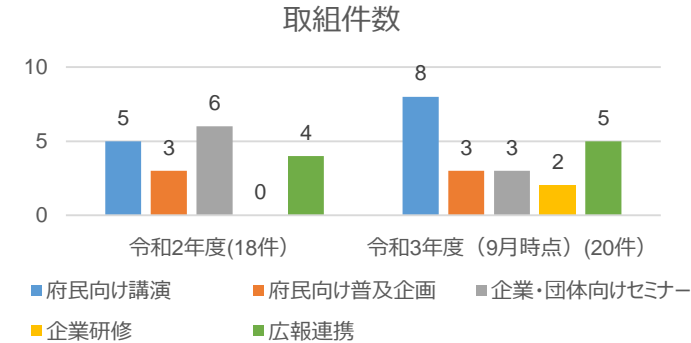


### ◆ SDGsへの取組の位置づけ



## これまでの取組み

- 府民向け：教育機関や各種団体などと連携したSDGs講義（今年度は中学、高校からも要請あり）  
企業等と連携した普及イベント（ファミリー層向けのイベントをwebで試験的に実施）
- 企業向け：企業向けセミナー  
社員向けSDGs研修等の支援
- 広報活動：企業と連携し普及ポスターの作製  
各種団体が発行する広報紙で大阪府の取組をPR



## 次年度の取組み（案） ※これまでの取組みを継承しつつ以下についても検討を進める

### 主な方向性：SDGsの理解を深める + 府内の中小企業の取組みを増やす

#### ○取組みの例

- ・ 多様な年齢層の方が参加し体感できる企画（ワークショップやイベントなど）
- ・ 中小企業の取組みにつながるような企画（経済界と連携したフォーラムや社内研修への協力など）
- ・ SDGsの取組みが広がるようなキャンペーン

課題 ⇒ 参加したくなるようなテーマ設定

- （関心の高いテーマ、身近に感じられるテーマ）
- 多くの方が参加可能な条件設定（時期・時間帯など）
- コロナ禍でも実施可能な企画（オンラインの活用など）
- オンライン対応が困難な方へのフォロー
- 庁内部局や市町村、関係企業・団体等との連携



オンラインを活用したSDGs講演の様子

**【小学生向けSDGs講座】SDGsを学ぼう（夏）**

大阪市及びアース製薬株式会社と連携し、夏休みにSDGsを楽しく学び・考えていただける企画を実施します。たくさんの方のご参加をお待ちしています！

開催日時：令和3年8月17日（火曜日）14時00分～15時30分  
 実施方法：オンライン（ZOOM）

☆申込方法・参加対象・プログラム内容等は下記をご確認ください。

オンラインを活用したSDGsイベント



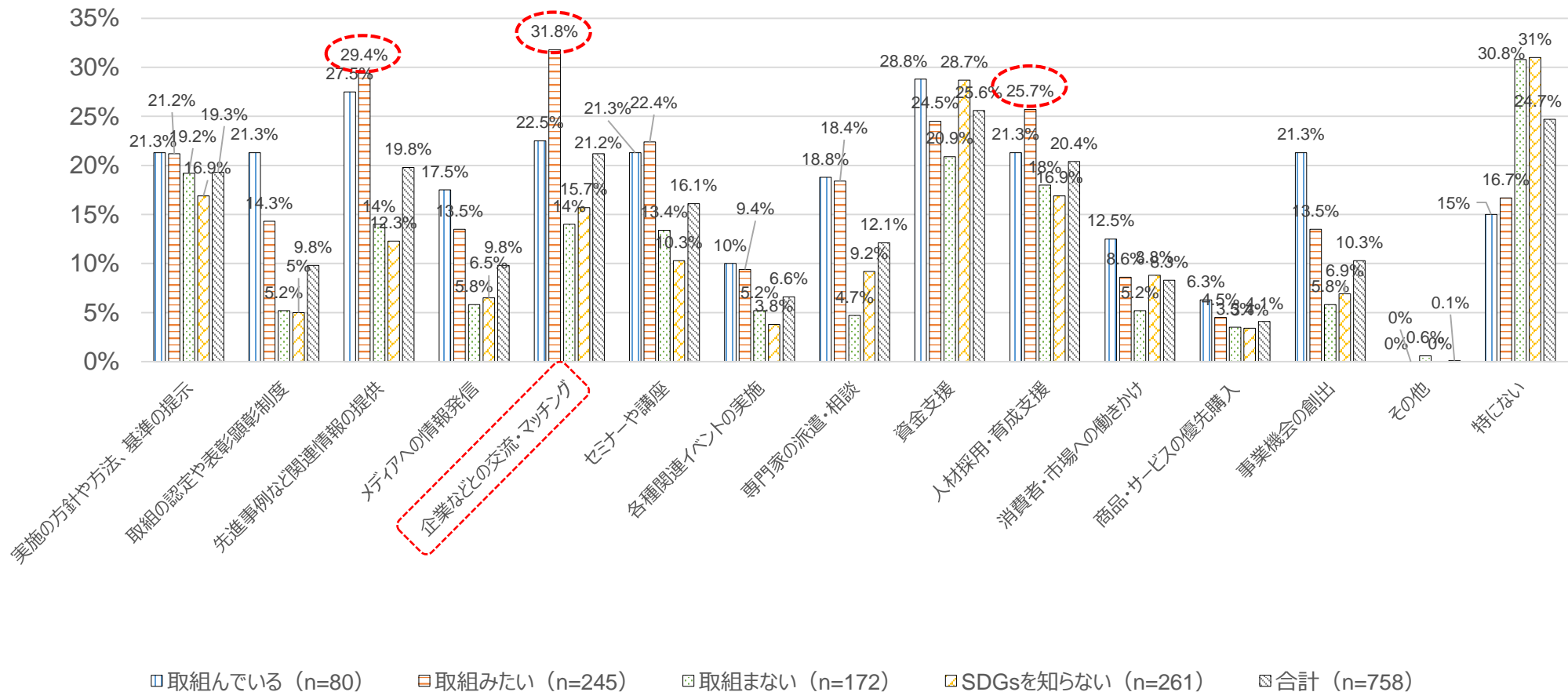
## ■ 中小製造事業におけるSDGs

実施時期：2020年7月～8月

発送件数：3,000件（有効発送数：2,886件）⇒ 有効回答数（率）：790件（27.37%）

調査対象：府内製造業（無作為抽出）

### ◆ SDGsへの取組に当たって希望する支援施策



## ○ 大阪SDGsネットワークの拡充

ネットワークのさらなる充実に向け経済界や金融機関の会員を拡大する。

取組内容：メーリングリストを活用した情報の発信（R3年度9月現在：24件配信。うち8件は会員からの配信要請により実施）  
会員向けSDGs勉強会の開催 など

### ※大阪SDGsネットワーク

大阪府内においてSDGsの取組みを先導する自治体、経済団体、国の関係機関及び金融機関で構成するネットワーク  
会員間の横のつながりを強化し、地域の特性にあわせた取組みの推進につなげることを目的に設置

### ※参加団体数 82団体（令和3年9月現在）

内訳：国（1機関）、市町村（40市町村）、経済界（23団体）、金融機関（18団体）

## ○ 連携のサポート

SDGsの取組みについて、さらなる拡大を図るため連携機会の創出を図る。

（これまでのマッチング事例）

### ① ボタンを活用した地域活性（ゴール11,12,17）

- ・ 文の里商店街の空き店舗（元ボタン店）を、シェアキッチン・シェアスペースに改装し地域交流の場を創出する団体と、ボタンなど服飾部品を取扱う店舗をマッチング
- ・ 不要となったボタンの提供を受け、シェアキッチン・シェアスペース内をボタンで装飾

### ② SDGsに関する論文作成（ゴール4）

- ・ デザインとSDGsをテーマにした論文を検討している学生とデザイン事業者をマッチング

## ○ SDGs未来都市計画に沿って取組みを推進

一部の事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされたが、概ね計画どおり進捗中  
大阪市及び関係部局と連携しつつ、引続き計画に沿って取組みを推進する。

### SDGs未来都市計画 主なKPI

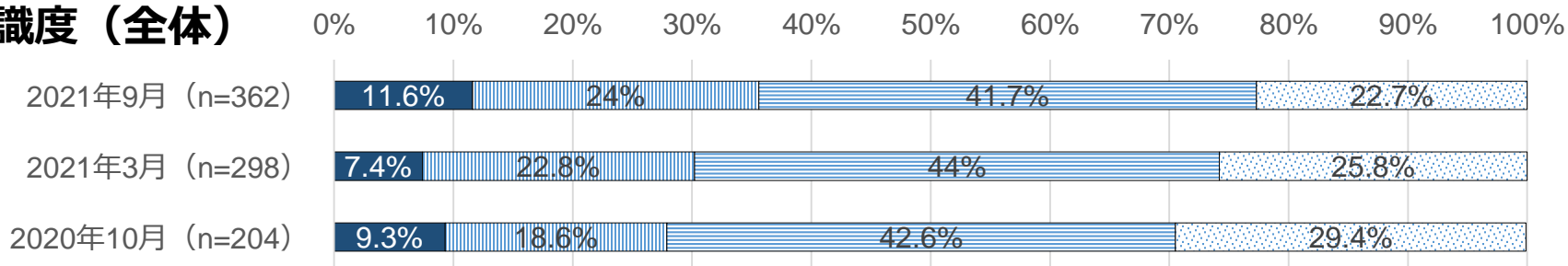
	目標	現状
健康寿命	2023年度 計画策定時から2歳以上延伸 男性：72.46歳以上 女性：74.49歳以上  ※計画策定時 男性：70.46歳、女性：72.49歳	2016年度 男性：71.50歳（達成度52%） 女性：74.46歳（達成度98.5%）  ※本データは3年ごとに更新 （2019年度数値は2021年秋頃発表予定）
雇用創出数	2022年から2025年までの年平均2万人以上 ※2022年に就業者数をコロナ前の水準に戻す （2019年就業者数 457.9万人）	2020年度の雇用創出数：2.6万人（達成度130%） ※就業者数460.5万人
「全国学力・学習状況調査」における 小学6年生の平均正答率	2022年度に全国水準の達成・維持	2018年度 国A：66%（全国70.7%）（達成率：93.4%） 国B：51%（全国54.7%）（達成率：93.2%） 算A：62%（全国63.5%）（達成率：97.6%） 算B：49%（全国51.5%）（達成率：95.1%）
「全国学力・学習状況調査」における 中学3年生の平均正答率	2022年度に全国水準の達成・維持	2018年度 国A：74%（全国76.1%）（達成率：97.2%） 国B：58%（全国61.2%）（達成率：94.8%） 数A：63%（全国66.1%）（達成率：95.3%） 数B：44%（全国46.9%）（達成率：93.8%）
府立高校のスマートスクール化	2021年度：府立高校への一人一台端末の配備	—
温室効果ガス排出量	2030年度に2013年度比：40%削減 ※2013年度のCO2：5,623万t	2018年度のCO2：4,512万t（達成率：49.4%） ※2013年度比 約19.8%削減

## SDGs未来都市計画 主なKPI

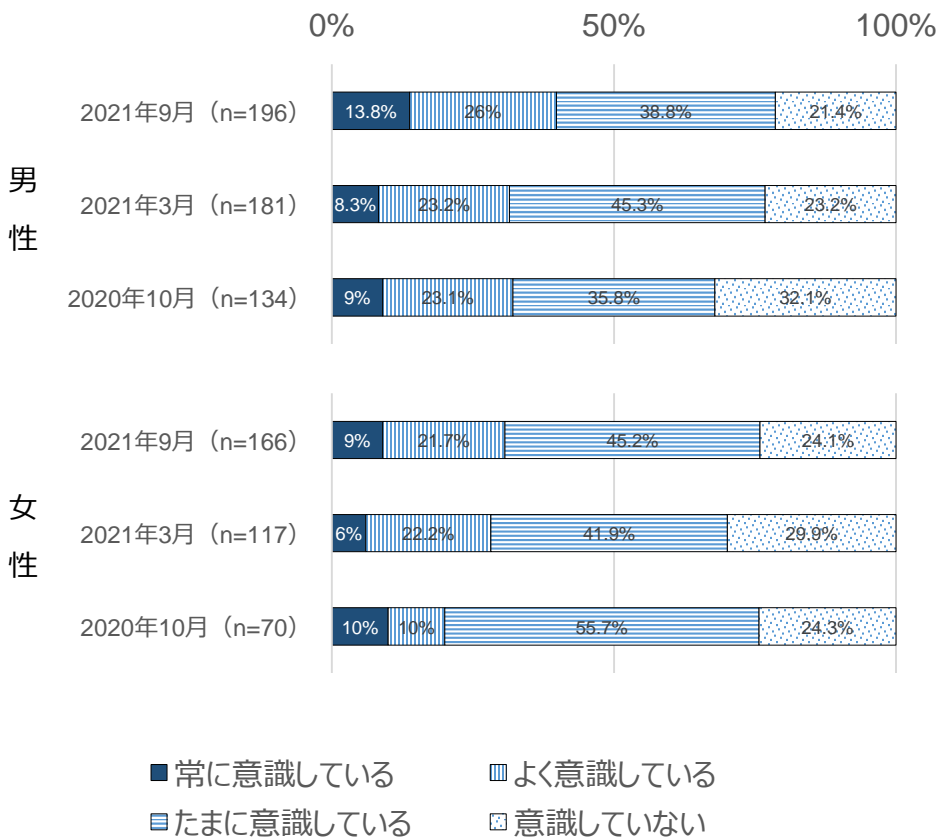
	目標	現状
容器包装プラスチックの排出量、再生利用率	2025年度 排出量:21万t（14%削減） 再生利用率:50%（23ポイント増加）	2020年度実績：10月末公表予定
プラスチックの焼却量、有効利用率	2025年度 焼却量:36万t（25%削減） 有効利用率:94%（6ポイント増加）	5年毎に調査実施 ※次回調査:2024年度
大阪湾に流入するプラスチックごみ量	2025年度 2019年度比:50%削減	2021年度中に調査方法等を確定予定
大阪ええまちプロジェクト（地域の支え合いと高齢者の活躍の場の創出） 支援件数	2022年度 毎年度 20件	2020年度 19件
大阪ええまちプロジェクト（地域の支え合いと高齢者の活躍の場の創出） 支援団体活動紹介WEBページ閲覧者数	2022年度 前年度数値の維持又は増	2020年度 5.7万人
大阪ええまちプロジェクト（地域の支え合いと高齢者の活躍の場の創出） 支援団体活動紹介WEBページ閲覧回数	2022年度 前年度数値の維持又は増	2020年度 7.6万回
食品ロス	2030年度 事業系家庭系ともに2000年度比で半減 ※2000年度：65.4万t （事業系33.2万t、家庭系32.2万t）	2020年度 43.1万t（達成率：68.2%） （事業系：22.3万トン、家庭系：20.8万トン）

「SDGsを知っていた」と答えた方が、どの程度SDGsを意識して行動しているか。

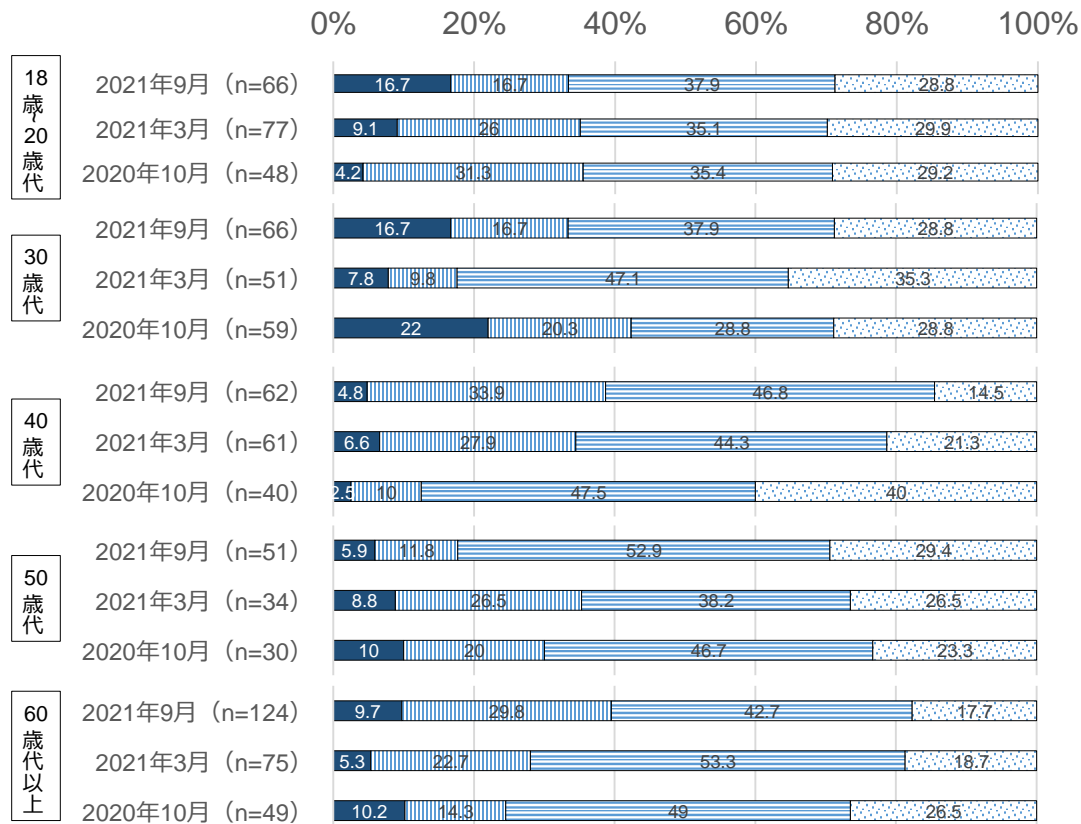
## ■ SDGs意識度（全体）



## ■ SDGs意識度（性別）



## ■ SDGs意識度（年代別） ※ 2021年9月調査



## 大阪SDGs行動憲章

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします。

1. かけがえのない“いのち”を大切に、地域社会や環境に配慮して行動します。
2. 2030年に住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、できることから意識して行動します。
3. 人と人との出会い、つながりを大事にしながら、互いに学びあい協力して行動します。

### ○ 私のSDGs宣言プロジェクト

「大阪SDGs行動憲章」の趣旨に沿って、各ステークホルダーの具体的な行動を促すプロジェクト。集まった宣言は大阪府HPで紹介（2021年2月スタート）

※プロジェクト参加数（R3.9月現在）

670件（内訳）個人：572件、企業・団体等：98件



引き続き、企業や教育機関などと連携し、より多くの方の宣言を集めるとともに、集まった宣言について、府HPに加え多くの府民の目に触れる機会をつくる。



民間企業と連携し作成したPRポスター



SDGsイベントで寄せられた宣言



寄せられた宣言で作ったSDGsの木